# 農　大　だより

令和８（２０２６）年度版

令和８年１１月１日発行

愛知県立農業大学校

〒４４４－０８０２岡崎市美合町字並松１－２
Tel：0564-51-1601　Fax：0564-51-4831
E-mail　noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/

## 酪農専攻



## CONTENTS

1　専攻紹介
　　酪農専攻
2　特集
　　農起業支援ステーションほか
3　専攻トピックス
4　学校行事トピックス
5　お知らせ
6　クラブ紹介
　　フットサル　写真
7　SNS 投稿 diary

愛知県立農業大学校
公式HP

Instagram

X（旧 Twitter）

専攻紹介

# 酪農専攻

酪農専攻では、搾乳牛２２頭、育成牛２８頭、肥育牛１３頭、和牛２頭を飼養しており、１年生１３名、２年生１６名の計２９名で飼養管理作業を行っています。多くが非農家出身で、入学してから初めて牛と触れ合う学生もいますが、すべての学生が半年ほどで一通りの管理方法を身につけます。

酪農は朝夕２回の搾乳など毎日欠かさず作業を行う必要がありますが、その結果、学生同士の結びつきは強く、実践的な技術を楽しく身につけることができています。

## 酪農専攻ならではのイベント

牛の管理作業だけでなく、年間を通して、酪農専攻ならではのイベントも多数あります。今年あったイベントをいくつか紹介します。




















# 酪農専攻の実習

## 搾乳



搾乳は毎日２回。
品質の良い生乳を出荷するため努力しています。

## TMR



搾乳牛へは TMR という餌を調整し、給与しています。
牛の体調等を見ながら配合を変更します。

## 肥育牛



濃厚飼料中心の給与のため、牛の状態に気をつけながら給与を行う必要があります。

## 育成牛



しっかり食べて、24 ヶ月齢ごろの分娩に備えます。

## 子牛・哺乳



子牛の時期を健康に過ごすことは、その後の成長のためにも大切です。

## 繁殖



子牛が産まれなければ乳は生産されません。
繁殖管理は酪農経営の根幹を担います。

## 堆肥



糞は堆肥化して圃場に還元する循環型酪農を実践しています。

## 自給飼料・放牧



デントコーンサイレージ等、自給飼料の作成や牧草地での放牧にも取り組んでいます。

特　集



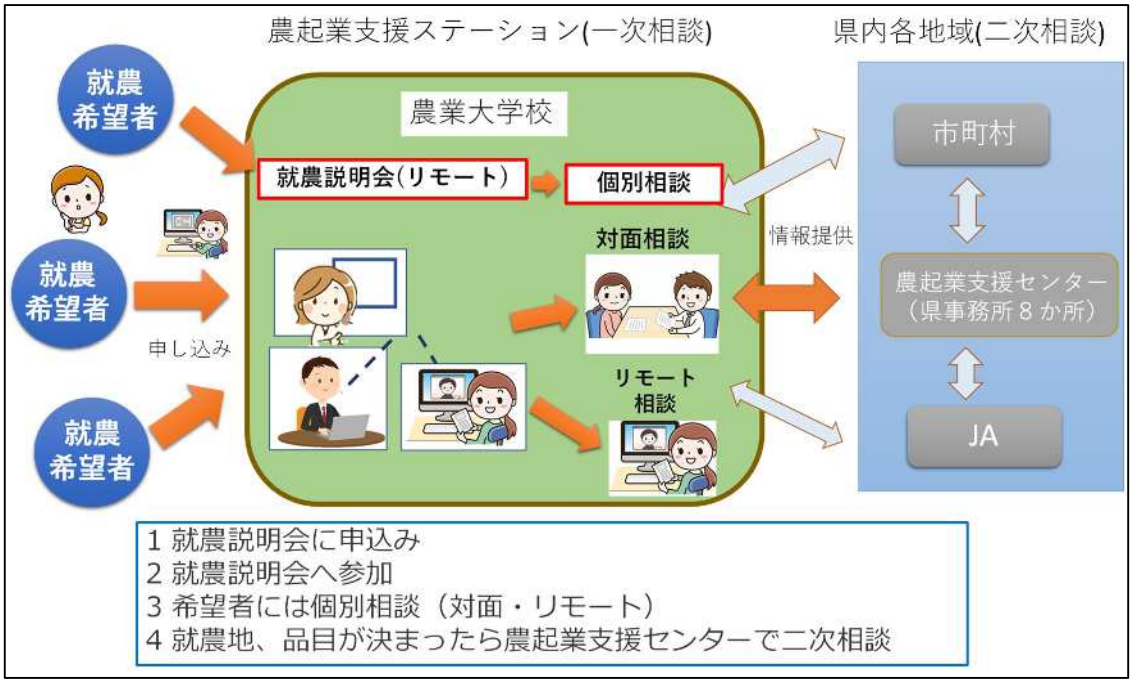

# あなたの就農を応援します
## 農起業支援ステーション

愛知県は、県内全域の就農相談窓口として「愛知県農起業支援ステーション（以下、ステーション）」を農業大学校内に設置しています。農業大学校では、農業後継者、新たに就農を希望する学生・研修生の育成に加え、就農者確保に向けた相談機能も果たすことにより、愛知県農業の担い手の確保と育成を総合的に支援しています。今回は、ステーションが行う就農相談の取組について紹介します。

## 就農相談の流れ　～就農説明会から個別相談まで～

### １　就農説明会

「農業を始めたい」という就農希望者には、まず、ステーションが開催する就農説明会に参加してもらいます。就農説明会は月に２回、基本的にリモートで開催しており、就農を考える上で、最低限必要な知識として、就農するまでの基本的な流れと、就農地と品目の決定や農地の確保など就農に必要な要件や支援制度などを説明しています。




**就農相談の流れ**

なお、第 15 回の就農説明会では、「ＪＡ等産地の研修受入体制の紹介」もあわせて行い、対面でも参加することができる回となっています。産地の研修担当者から、地域の概要・募集内容・研修内容等について、直接話を聞くことができ、参加者からとても好評です。




R8.6.3 就農説明会（対面）のようす

## ２　申込方法

就農説明会の申込みはインターネットで受け付けています。農業大学校 Web ページの申込みフォームに必要事項を入力することで申し込むことができます。（以下の二次元バーコードから農大 Web ページに入れます）

申し込みが完了すると自動返信メールが届きます。リモートで参加を希望された方には、開催 2 日前までに Cisco Webex Meetings の Web 会議 URL をステーションからメールでお送りします。

| 回 | 月　日 | 時　間 | 申込み締切日 |
|---|---|---|---|
| 第１５回 | １１月　５日（木） | 13:30-15:30 | １１月　１日（日） |
| 第１６回 | １１月２０日（金） | 18:00-19:00 | １１月１７日（火） |
| 第１７回 | １２月　９日（水） | 13:30-14:30 | １２月　６日（日） |
| 第１８回 | １２月２２日（火） | 18:00-19:00 | １２月１７日（木） |
| 第１９回 | 令和９年１月６日（水） | 13:30-14:30 | 令和９年１月３日（日） |
| 第２０回 | 令和９年１月２１日（木） | 18:00-19:00 | 令和９年１月１８日（月） |

**今後の就農説明会の予定**

## ３　個別相談

就農説明会の後、個別の就農相談（リモート・対面を選択可）の予約を受け付けます。個別相談は、事前に就農相談カルテを作成・提出していただいた上で実施します。相談者の希望する品目や就農地域、就農時期等を整理しながら、ステーションが助言や情報提供を行います。

品目や就農地が決まった段階で、就農地を所管する農起業支援センター（県農林水産事務所農業改良普及課）での相談へと移行し、市町村、農協等関係機関も含めて就農に向けて具体的な支援へとつなぎます。

## ステーションでの就農相談状況と今後の取り組み

ステーションでの令和８年度上半期の相談者は延べ 258 人で、就農に関する情報収集段階の方から、具体的な営農計画を検討している方まで、幅広い相談に対応しています。

なお、就農説明会については、令和９年１月までの開催となっており、その後は、就農希望者が時間や場所を選ばずに基礎知識を学べるよう、あいち農林漁業スタートガイド「あいちから」での就農ガイダンス動画視聴に移行する予定です。その際は、「あいちから」での動画視聴後に個別相談の予約を受け付ける予定ですので、Web ページの更新をお待ちください。

（以下の二次元バーコードから「あいちから」Web ページに入れます）

未来の選択、ここから
あいちから
あいち農林漁業スタートガイド

# 農家を目指している研修生

令和８年度農業技術研修受講生



**石原　英隆さん**

**年齢**：４５歳
**就農地**：岡崎市
**栽培品目**：ナス
**労働力**：自家労力１名

## ●農業をめざしたきっかけ

２年前に父親が他界し、当時パソコンの仕事をしていました。これまで、農業の手伝いをしたこともなく、圃場がどこにあるかも知らずにいましたが、せっかく農地があり、トラクターや軽トラ、農業用倉庫等もあり、農業開始には恵まれた環境にあったこと、いつか農業を始めるなら、若く体が動くうちにチャレンジしようと考え、就農を決意しました。

## ●農業のやりがい

夏は暑い、冬は寒い、機械は危ない、服は汚れる、物は重い等農作業は大変なことが多いと感じますが、徐々に楽しいと思えることが増えてきました。

## ●就農をめざす方へ

露地ナスの栽培を計画しています。安全安心な美味しいナスを栽培できるよう技術優先で考えています。研修期間は８ヶ月程度しかありませんので、自立するために自ら行動し、チャンスをつかんでいきたいです。

この研修で多くの仲間と出会うことができました。経営は一人ですが、先生・先輩、同期の研修生と農業仲間として助け合っていきたいです。

# 専　攻 トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

## 校外学習で最新の栽培技術やトレンドを学びました！

鉢物・緑花木

鉢物・緑花木専攻２年生は、校外学習で愛知県農業総合試験場の花き研究室と、花き種苗の販売を行う株式会社ハクサンを訪問しました。

花き研究室では、アジサイの新品種開発、コチョウランの補光、シクラメンの外気導入による高温対策の試験ほ場を見学しました。株式会社ハクサンでは、最新の花のトレンドやその情報収集の方法について勉強しました。盛りだくさんの内容で非常に有意義な校外学習になりました。



## ハロウィンカラーの花束を飾りました

切　花

中央教育棟ロビーに切花の学生が花束を飾りました♪ヒマワリやバラ、スプレーギクなどを使い、秋らしい色味に仕上がりました。目を引くオレンジのヒマワリは、ハロウィン需要に合わせて栽培しました。

ヒマワリやバラ、スプレーギクは、本校の毎週水曜日の直売で販売しています。ぜひお買い求めください。



## 秋冬野菜の収穫が始まる！



暑さがようやく落ち着き、キャベツやサツマイモなどの収穫・出荷が始まりました！

この野菜は、夏の厳しい暑さの中、学生たちが一生懸命に種をまき、水をかけ、草を抜いて大切に育てたものです。ぜひ直売所で手に取ってみてください。

また、今作から露地野菜専攻では、学生が主体となって栽培計画と日々の作業内容を考え、実践するスタイルに挑戦しています。自分たちで考えた計画に基づいて育てた野菜が、ついに初めての収穫・出荷を迎えることができました。

昨年度に比べて、学生たちの栽培に対する責任感や熱意もぐっと高まっています。今後も主体的な学びを深めながら、実践的な栽培管理能力を身に付けていけるよう、温かく見守ってください。

## お待たせしました<br>トマト・ミニトマトの販売はじまりました！！



8 月、9 月は植え替えのためトマトやミニトマトの販売をお休みしていましたが、10 月からいよいよ収穫を開始しました。今作では学生のプロジェクトで大玉トマトの裂果対策やミニトマトの日焼け果対策など品質改善に力を入れていきます。

食味だけでなく見た目もいいものを販売できるように頑張ります！

## 県外学習で米の品種について学びました！

作物専攻では、宇都宮大学で開発された水稲品種「ゆうだい 21」について学びました。同品種は食味コンクールなどで高い評価を受けている有望な品種です。こうした新品種の育成や栽培方法を学ぶことで、学生たちは農業に関する知見を広めることができました。



## デントコーンをカラスから守れ！

昨年に続き今年もデントコーンが豊作で、たくさんのサイレージを作ることができました。デントコーンサイレージは、収穫したものを円柱状に成形し、ラップで密閉をして白いボール状のロールに仕上げたものです。空気に触れないよう密閉することで、腐敗を防ぎ、長期間保存ができるようになります。

ロールには、デントコーンの実が入っており、これはカラスの大好物です。そのため、カラスはくちばしでラップをつついて破ることがあり、破損した部分から空気が入ると腐敗の原因になります。そこで、テグスや防鳥ネットを張り、カラスによる被害の対策を行いました。カラスは翼に何かが触れるのをとても嫌います。これで上空からの対策は万全です。

全てのロールが被害に遭うことなく、無事に使い切れることを期待します。



果　樹

## 県外学習でカンキツの研究について学びました



果樹専攻では、農研機構果樹茶業研究部門の興津拠点を訪問し、カンキツ栽培における最先端の研究について学びました。特に、カンキツの新しい灌水管理技術である「NARO S.マルチ」は、高品質な果実を安定して生産するための有望な技術です。

学生たちは現地で最先端の技術や研究に直接触れたことで、カンキツ栽培に関する知見を広げることができました。

養　豚　　養　鶏

## 学生プロジェクトの一環で朝の出荷作業を実施



養豚専攻では、豚への負担軽減や作業効率を考慮し、午後に出荷作業を行っています。今年度の学生プロジェクトの一環として、朝出荷と午後出荷で、と畜成績に違いがあるかを調査するため、朝の時間帯に出荷作業を実施しました。

当日は学生たちが早朝から集合し、出荷前の準備や豚の誘導、積み込み作業に取り組みました。普段とは異なる時間帯での作業となりましたが、それぞれが役割を果たしながら作業を進め、無事に出荷を終えることができました。

今回の取り組みでは、出荷時間の違いが豚の状態や出荷後の成績にどのような影響を与えるのかを確認することができました。また、学生たちは日頃の飼養管理と出荷作業とのつながりについて理解を深めるとともに、データをもとに考察する農業大学校ならではの実践的な学びを経験する機会となりました。

# 学 校 行 事 トピックス

## 農大祭（１２月５日（土））のテーマとポスターが決まりました

令和８年度農大祭テーマ

「未来へつなぐ　農のチカラ」

令和８年度農大祭ポスター






## 特別推薦入学試験を行いました

令和９年度農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験を９月 29 日(火)に実施しました。県内の農業関係高校７校から 16 名が受験し、その内７名が農業後継者、９名が非農家（卒業後に就農を希望）という内訳でした。

厳正な選抜の結果、10 月８日(木)に 16 名全員の合格を発表しました。

今後、一般推薦入学試験を 10 月 30 日(金)に、一般入学試験を 12 月８日(火)および令和９年２月 10 日(水)に実施します。就農をはじめ、農業関連業界への就職・進学に強い意欲を持つ方々からのご応募を期待しています。

## 農業関係高等学校農場長との意見交換会を開催しました

10 月２日(金)に、農業関係高等学校の農場長との意見交換会を開催しました。

当日は、本校の概要および近況報告、農業高校全体の動向説明に続き、「生徒の確保」「農業への関心喚起」「農業者としての資質を育む教育実践」について活発な意見交換を行いました。各高校が魅力ある特色豊かな教育を工夫されている様子が伺え、予定の時間が足りなくなるほど議論が深まりました。本校としても、愛知の農業を盛り上げる人材の育成に向け、今後の教育・研修内容のさらなる充実に活かしていきたいと考えています。



昼食時には、学生寮「和耕寮」で学生と一緒に食事を堪能していただき、その後、寮内や農場での実習の様子を見学していただきました。

今後とも、農業高校から農業大学校、そして就農へとつながる進路が、より強固で魅力的なものとなるよう、関係者の皆様とともに努めてまいります。

## パソコン農業簿記活用研修（経営管理研修）

9 月 15 日(火)、本校中央教育棟の情報処理室にて「パソコン農業簿記活用研修」を開催しました。参加者は、農業経営にパソコン簿記の導入を検討している生産者や本校の研修生など計 25 名です。すでに「入門編」で基礎を学んだ方を対象とした「活用編」であったため、受講者の理解も早く、終始スムーズに研修が進みました。

研修では、まず講師の樋田氏から研修概要の説明があり、決算整理の手順から講義が始まりました。項目ごとに用意された演習問題に沿って、仕訳や農産物の棚卸、減価償却、保険積立金などの処理方法の説明を受けながら入力操作を進めました。続いて、入力済み伝票のチェック方法や決算修正のポイント、消費税の計算方法などについても実践的な操作を行いました。最後に、経営分析の結果をグラフ化して「見える化」を図り、経営の改善点を明確にしていきました。

研修後のアンケートでは、「説明が分かりやすかった」「ぜひパソコン簿記を導入してみたい」といった前向きな感想を多くいただき、非常に有意義な研修会となりました。



お知らせ

## 令和9年度入学者選抜試験




### ●一般入学試験

出願期間　**11 月 10 日(火)～11 月 25 日(水)**
試 験 日　**12 月 8 日(火)**
合格発表　12 月 17 日(木)
試験科目　数学Ⅰ、小論文（800 字以内）、面接試験
募集人員　定員 100 名の内、推薦入学合格者を除く数

※　詳細は、本校ホームページを御覧ください。

お知らせ

## 農大祭2026を開催

### ■　開催日時

12 月 5 日（土）午前 9 時から午後 1 時まで（入場開始　午前 8 時 30 分）
公共交通機関の御案内：名鉄美合駅下車　南へ徒歩１０分

### ■　テーマ

「未来へつなぐ　農のチカラ」

### ■　主な内容

①　農畜産物の直売、食品バザー
各専攻で育てた鉢植、切花、米、野菜、卵などの直売。五平餅、焼き芋、ジャムの販売など。

②　農業大学校のＰＲ
各専攻のパネル展示やキャンパスツアーを行い、農大の魅力を紹介します。

③　各種団体・企業ブース
農業大学校に関係する団体、企業がブースを出展し、展示や即売を行います。
※駐車場は例年混雑するため、できる限り公共交通機関を御利用ください。
※家畜防疫上、ペットの同伴はご遠慮ください。

## クラブ活動紹介

農大では、授業後の余暇時間を活用して、学生主体でクラブ活動が行われています。クラブは全部で 14 クラブ。
今月は「**フットサル部**」と「**写真部**」を紹介します。

## フットサル　部

**部 員 数**　７名（男子７名）
**活動日時**　水曜日
　　18：30～
**活動場所**　体育館



こんにちはフットサル部です。私たちは１年生と２年生の仲が良く、楽しい雰囲気で活動しています。練習やミニゲームを中心に、楽しみながらがモットーです。残念ながら東海近畿スポーツ大会ではフットサルの競技はありません。初心者の方でも気軽に参加できるので、是非私たちと良い汗を流しましょう。

## 写　真　部

**部 員 数**　８名
　　（男子３名　女子５名）
**活動日時・場所**
　　農大行事や各種イベントの
　　日程に合わせて活動




部員数は２年生６名、１年生２名の計８名です。主な活動は学内イベントの記録ですが、写真部ですので、ただ撮影するのではなく、構図や情景を考え抜き、写真を見る人に「感動を与える」ことを目標にしています！　私たちの周りの風景には「感動の種」があふれていて、写真撮影スキルを磨く機会がいっぱいです！
さあ、みんなで楽しく　Let's 写活～！！

# SNS 投稿 diary

農大公式アカウント：Instagram・X(Twitter)
アカウント名「aichinoudai」

Follow Me !!

通番　（投稿日）　内　容

79（10月2日） ハロウィンカラーの花束を飾りました
80（10月8日） アジア大会で茶道の魅力を伝えました
81（10月8日） 大特免許研修を行いました
82（10月13日） ハボタンの葉かきを行いました
83（10月15日） ストックを飾りました
84（10月15日） 軽音部の練習風景です
85（10月19日） 大特免許とけん引免許の技能試験を行いました
86（10月20日） キャベツの収穫が始まりました
87（10月21日） 宇都宮大学で水稲新品種の講義を受けました
88（10月22日） ガーベラを飾りました
89（10月23日） 花に関する試験研究と種苗開発を学びました
90（10月26日） 「とはなす岡崎」の秋フェスでライブをしました
91（10月27日） 研修生がトラクター実習を行いました
92（10月27日） 農大祭実行委員会を行いました
93（10月27日） 農畜産物実習販売の11月予定です
94（10月29日） 新米{あいちのこころ}の販売をスタートしました































